

1. 教育目標と教育方針

(1) 教育目標

建学の精神を基調とし、真に人間尊重の理念にたつて、つねに文化を創造し、国家、社会の平和と福祉に貢献しうる心身ともに健全な人間の育成をはかる。

(2) 教育方針

親の幸福を祈る人たるを道徳の根本とし、愛校心を郷土愛、祖国愛、人類愛へと発展させ、豊かな人間性を養う。

礼儀を重んじ、つねに正しい判断に基づいて行動できる習慣、態度を養う。

各人のもつ個性を開発し、その資質才能を伸ばし、自己の能力適性に応じて進路を決定させる。

健康と安全を重んずる習慣・態度を養い、強い気力と実践力を育てる。

自主性と創造性を養い、つねに高遠な理想をもち、これに向かって努力する気性を育てる。

2. 学校の特徴

建学の精神を基調とし、生徒の実態に応じた一人ひとりを大切にたした指導を行っている。教育課程では、生徒の将来の進路、能力に応じ、入学時より教育課程の多様化につとめ、1 年次は特進コース、特進文理コース、普通総合コースを設けている。2 年時より生徒の個性・能力・進路目標に応じて特進コース（理系・文系）、総合進学コース（理系・文系）、総合社会コース（体育系・保育系・情報系・社会系）に分かれ、総合社会コースでは授業の 3 割程度が専門科目となり、興味関心のある分野について学ぶことができる特色のあるものになっている。3 年次では進路目標に応じてきめ細かい学習ができるように特進コースはさらに理系一類・二類、文系一類・二類に分けて学級編成を行っている。

生徒指導においては、一人ひとりの生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図り、教員と生徒との間の人間的な触れ合いを大切にする。一人ひとりの生徒の全人格的な発達を促すため、集団場面における指導（クラブ活動など）と個別指導との調和をはかり、家庭や関係諸機関との連絡を密にし、充実を目指している。

進路指導においては生徒の実態・志望に即した講習会・講演を実施するなど、生徒一人ひとりの特性を引き出すことにより、将来の職業に対する興味・関心を深め、自己の進路に対して主体的に選択できる能力育成を目指している。

3．学校の現状と課題

構造的な生徒減が続くなかで、定員確保が困難になっている現状がある。毎年質量の異なる生徒が入学するなかで一人ひとりを大切にしたい指導が重要となっている。

多様化する生徒への対応、よりきめ細かい指導のため、ST 検査・進路マップ・スタディサポートなど各種調査・資料の有効活用をはかる。

生徒指導の充実も重要な課題であり、各種講習会の実施など事前予防指導に重点を置いた指導の充実をはかる必要がある。

学校の活性化をはかり、ボランティア活動の推進や、部活動への参加率の向上を図ることが必要である。

4．学校教育計画

教科指導 目標 学習の習慣づけ

計画 朝学習，成績不振者補習，

進路指導 目標 生徒の希望を尊重した進路実現

計画 進路希望調査も基づき各学年・コースごとの進路講習会を実施する

5．学校重点目標

平成 21 年度 高岡第一高等学校アクションプラン

重点目標

建学の精神を理解し、生徒が学校生活に積極的な意義を見出し得るように教員間の理解を図り、研習を深めるとともに指導力の向上につとめる。一人ひとりの生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図り、教員と生徒との間の人間的な触れ合いを大切にする。一人ひとりの生徒の全人格的な発達を促すため、集団場面における指導（クラブ活動など）と個別指導との調和をはかり、家庭や関係諸機関との連絡を密にし、生徒指導の充実をめざす。

特別活動

学校生活の充実と向上をはかるとともに、公共心を育成し、ボランティア活動の啓発に努める。

進路指導

基礎学力の定着を計ると同時に、生徒一人ひとりの特性を引き出すことにより、将来の職業に対する興味・関心を深め、自己の進路に対して主体的に選択できる能力育成を目指す。

重点目標

- 1．ひとりひとりに応じた指導により，学力の向上をはかる。
- 2．生活態度を厳正にし，規律ある生活をはかる。
- 3．部活動や生徒会活動，また学校行事に積極的に参加して社会性を高める。
- 4．校舎内外の美化にこころがけ，公共心を養う。

アクションプラン

- 1．担任による個人面接を学期ごとに実施し，教師と生徒との人間味あるふれあいをはかる。
- 2．コース・科目によっては，週ごとのノート集めや提出物により多角的な面からの評価をはかる。
- 3．部活動への参加をうながし，加入率を向上をはかる。
- 4．生徒会活動をつうじてボランティア活動を推進し，地域社会への貢献をはかる。
- 5．生徒・教職員一体となった清掃活動をおこない，美化をはかる。